女性活躍加速化プロジェクト事業【石川県金沢市】

総事業費	489 千円
交付金額	244 千円

地域の実情と課題

【本市をとりまく現状】

- ○女性の就業率は、全国平均に比べて高いものの、管理職等の割合が低い
- 〇子育て支援制度が充実しているにもかかわらず、 女性職員の正規化が進まない

事業の特徴

金沢市女性活躍加速化プロジェクト事業 女性活躍応援ポータルにより女性活躍の見える化を図る

目的・目標

女性の能力を生かし、企業及び社会における活躍を推進する ことを目的とし、職場環境改善やワークライフバランスの効果的 な推進と女性活躍促進の加速化を図る。

・ポータルサイトへのアクセス数 目標値77,000回 → 実績値:79,572回

連携団体

- ・かなざわ女性活躍推進会議(協議会) (有識者、関係機関6機関と事業所16社)
- ・石川中央広域圏男女共同参画推進協議会 (金沢市、かほく市、白山市、野々市市、津幡町、内灘町)

事業の効果

ポータルサイトの運営により、女性活躍の「見える化」を図り、自発的な 女性活躍の好循環を生む

今後の課題

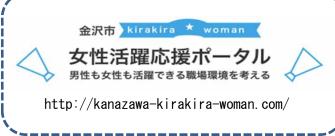
ポータルサイトはR4年度で終了。SNSを活用した情報発信に シフトする。

事業の概要

4. 金沢市女性活躍加速化プロジェクト事業の実施

女性の暮らし方、働き方に関する情報を一元化するホームページ「金沢市女性活躍応援ポータル」を更新し、女性活躍情報の「見える化」を図り、自発的な女性活躍の好循環を生み出す。





水池氏が湿水したデータによると、不旺かもしれないと切んだ経験がある大綱は到底に1個、不旺治療を受けたことがある 大綱は4.4個に 1個。

それにも関わらず、厚生労働者の調査では77年の人が「不抵治療の実態を知らない」と同答しました。 例性に不妊娠因がある場合もある事実もそれほど知られていないようです。

不妊や更年期の実態